

IoTコトハジメ 世界でたった一つだけのイルミネーションを 作るプログラミング ハンズオン&ワークショップ

2016年11月27日 2011期 越智 由浩

今日の目的・到達地点

コンピュータ・プログラムと実際のモノの接点、を体感する

昨今流行りのIoT(Internet of Things)へのつながり・発展を理解する

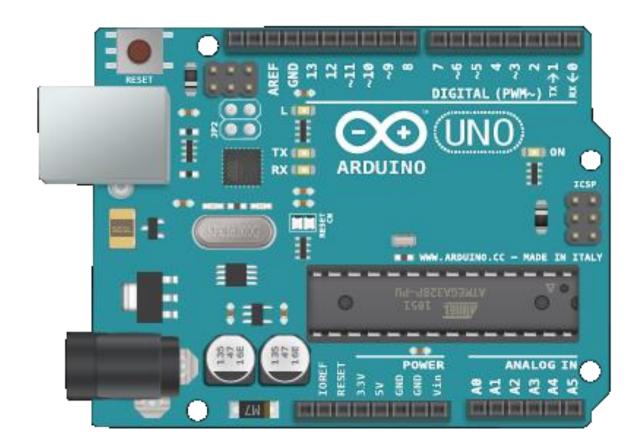
今日の大まかな流れ

- 60分:道具の使い方と、基本動作の確認
- 30分: LEDを光らせてみる
- 30分:センサーを使ってみる
- 30分: LEDとセンサーを組み合わせて使ってみる
- 残り:ちょっとしたレクチャーを経て、最後のお楽しみ

余裕見てトータル 3時間弱

今日の主役:アルドゥイーノ

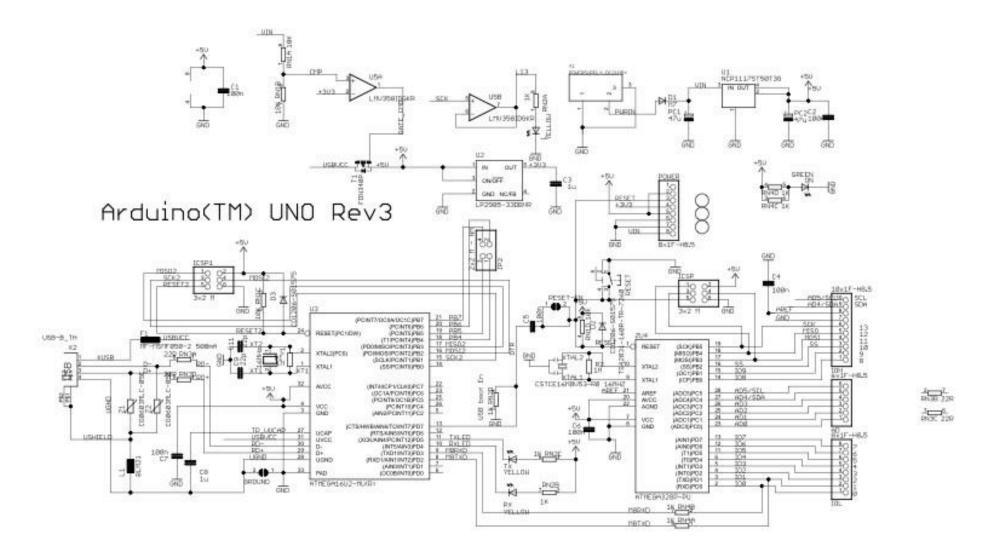
https://ja.wikipedia.org/wiki/Arduino



アルドゥイーノ・ボード



プログラム開発環境

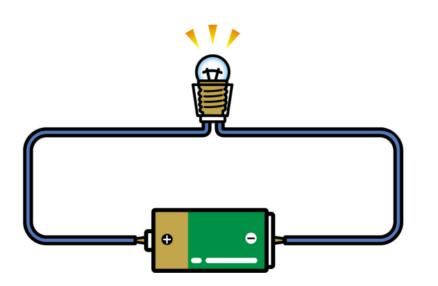


Reference Designs ARE PROVIDED "AS IS" AND "WITH ALL FAULTS. Arduino DISCLAIMS ALL OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, REGARDING PRODUCTS, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE Arduino may make changes to specifications and product descriptions at any time, uithout notice. The Customer must not rely on the absence or characteristics of any features or instructions marked "reserved" or "undefined." Arduino reserves these for future definition and shall have no responsibility uhatsoever for conflicts or incompatibilities arising from future changes to them. The product information on the Web Site or Materials is subject to change uithout notice. Do not finalize a design uith this information. ARDUINO is a registered trademark.

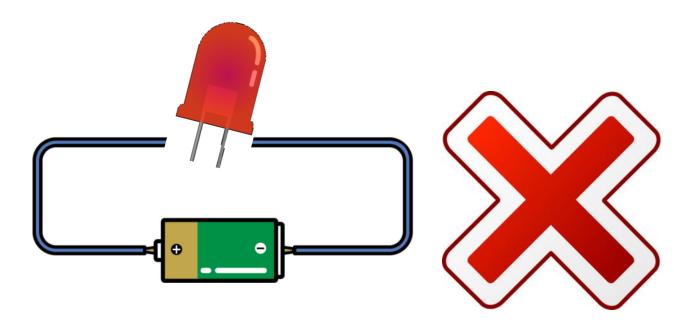
Use of the ARDUINO name must be compliant with http://www.arduino.cc/en/Main/Policy

豆電球 vs LED

小学校の時にやった豆電球



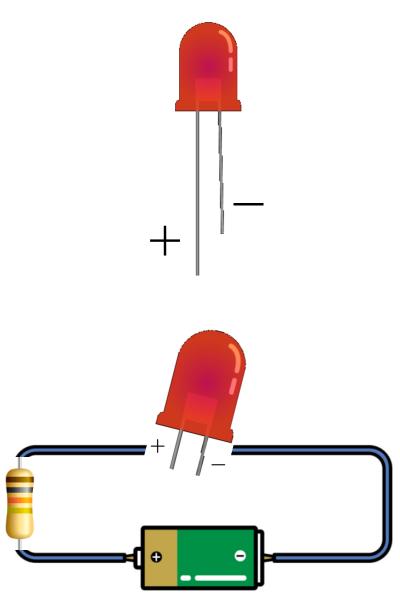
LEDに単に置き換えてよいか??



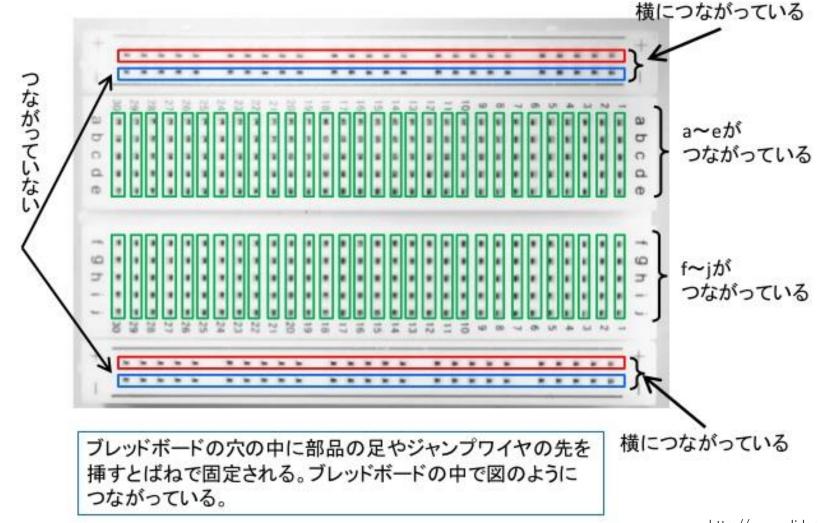
LEDの注意点、二つ

- プラスとマイナスがある
 - 長い足のほうがプラス
 - 逆につなぐと壊れる
- 回路に抵抗を挟む必要がある
 - 抵抗挟まずにつなぐと壊れる

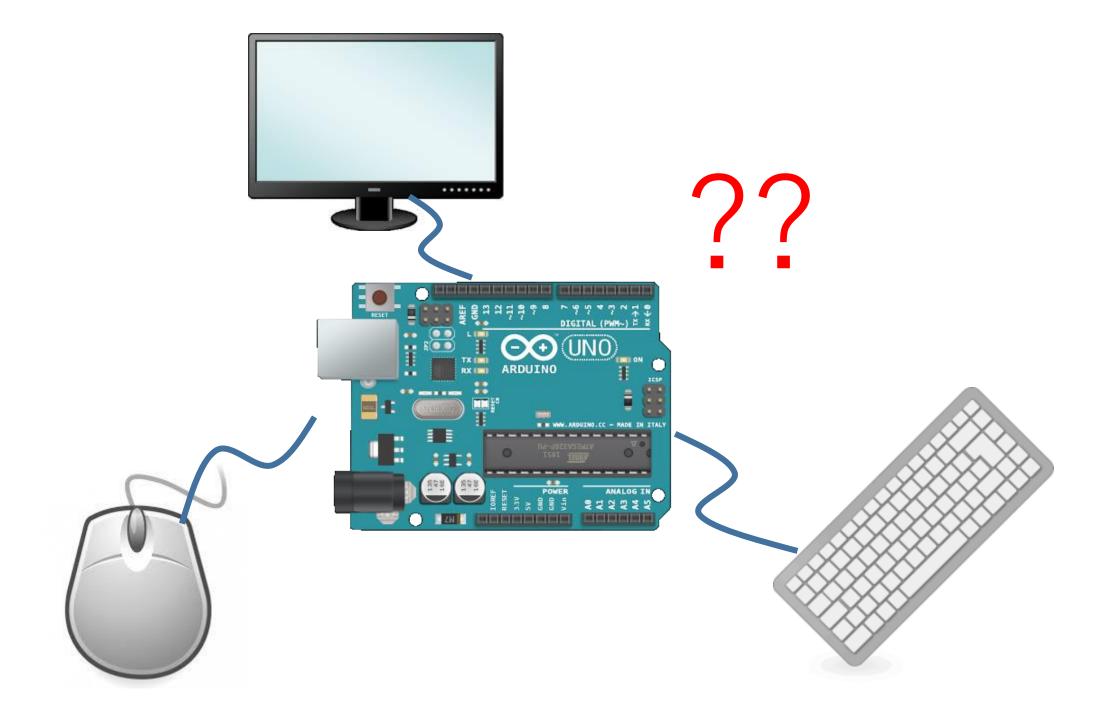
抵抗には「抵抗の大きさ」によってさまざまな種類があります。
抵抗自体は向き(右図の場合、上下の向き)は関係ないです。

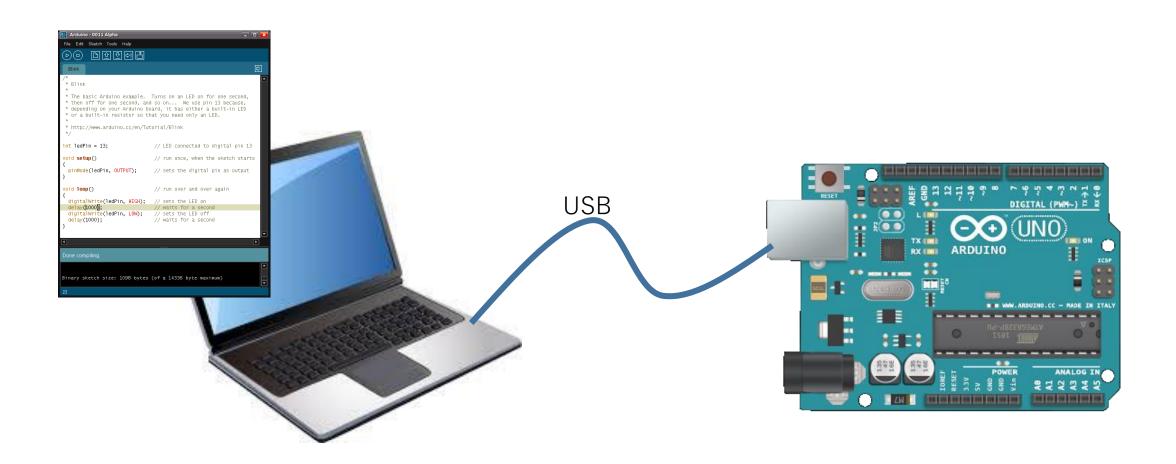


もう一つ、便利な道具。ブレッドボード



さあ、動かしてみましょう





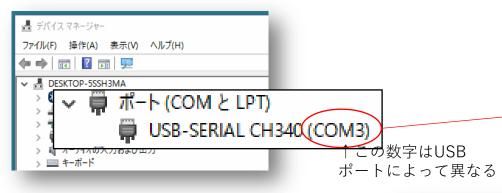
パソコン上でプログラムを作っておいて、 動作するものをUSB経由でArduinoに転送する。

準備はいいですか?

• ARDUINO 1.6.xのソフトウェアを起動してみましょう

基本的な動作の確認

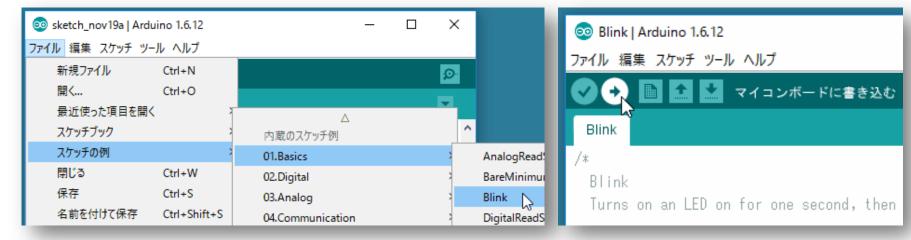
- 1. ArduinoをUSB経由でパソコンとつなぐ
- 2. Windowsのデバイスマネージャを開いて、 何番ポートにArduinoがつながっているか を確認する



3. Arduino IDEを立ち上げ、必要な設定項目を確認



4. Blink (サンプルプログラム) を開いてコンパイル・転送する



Arduinoのプログラムの概観

• 実際の画面でソースコードを見てみましょう

休憩

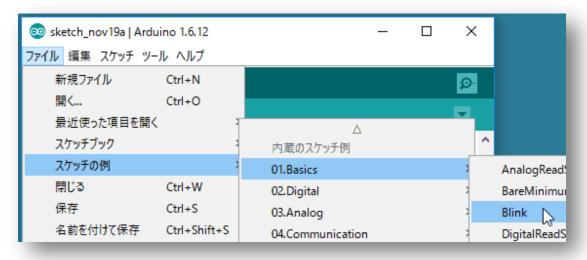


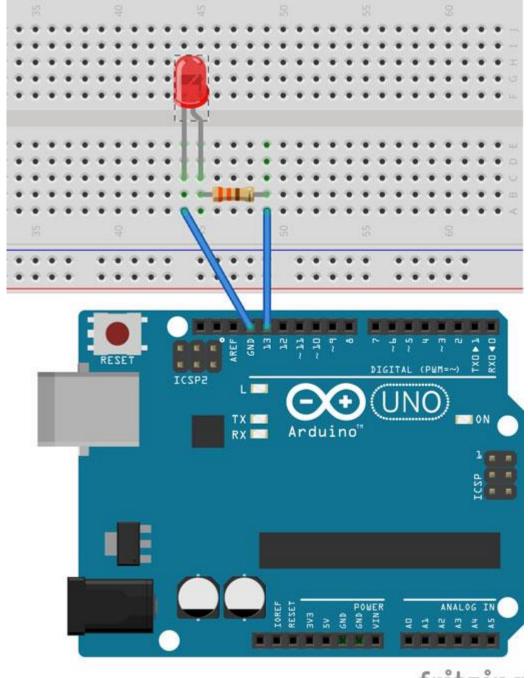
LEDを光らせてみる



ポイント:

- LEDの足が長いほうを13番に、 短いほうをGNDにつなぐ
- 抵抗は、あいだのどこかに挟む
- 抵抗の向きはどちらでも良い
- プログラムは先ほどのBlinkを使う

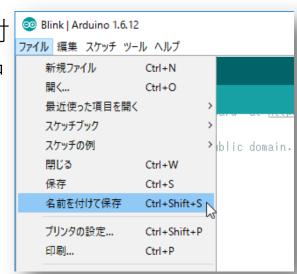


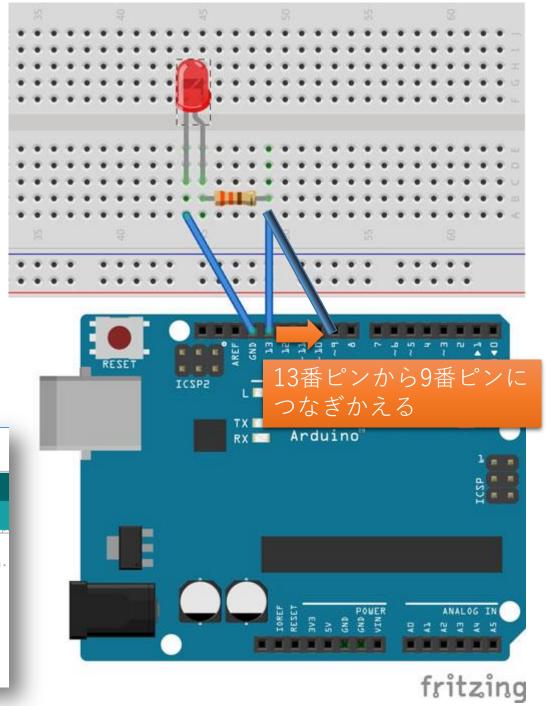


関数

- 命令の塊でもって、自分オリジ ナルの命令を作ってみましょう
- PINは13番から9番に変更
- サンプルプログラム: 01_myBlink.ino

「ファイル」->「名前を付けて保存」で、ファイル名を変えて保存できます。

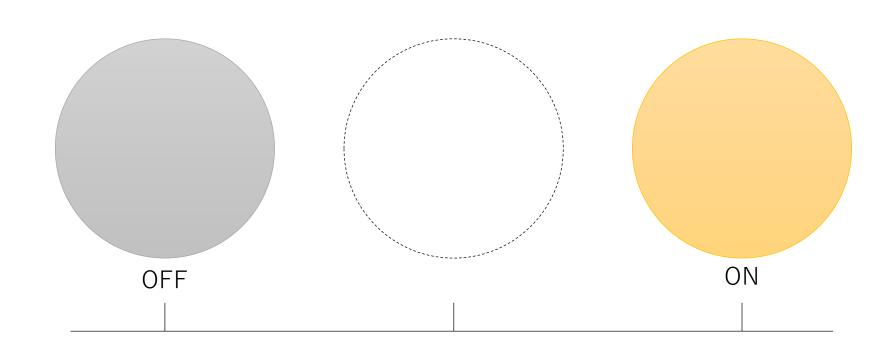




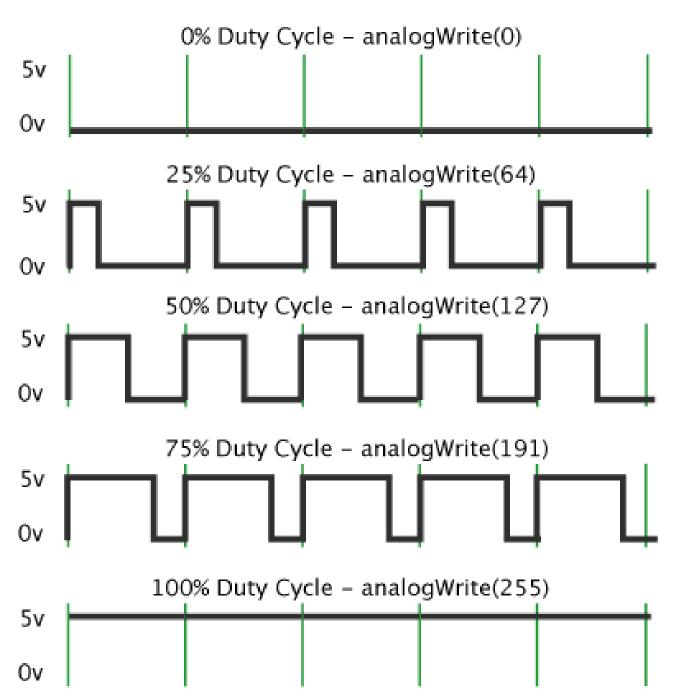
GitHubからソースコードをコピって来る

- https://github.com/yoshihiroo/programming-workshop
- Facebookにリンクを張り付けておきます

LEDを使って、中間の明るさを表現できるか?



Pulse Width Modulation



analogWriteサンプル

• 02_analogWriteSample.ino

このあとのための準備

- 下記の関数を作っておく
 - myBlink()
 - myFade()
- サンプルプログラム:03_myBlink_myFade.ino

休憩

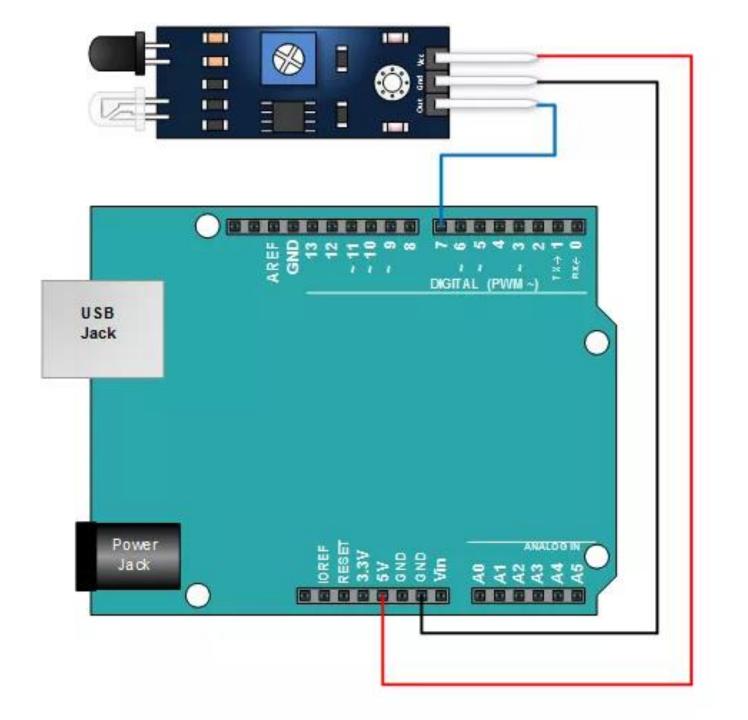


センサーを使ってみる



赤外線障害物検知センサーモジュール

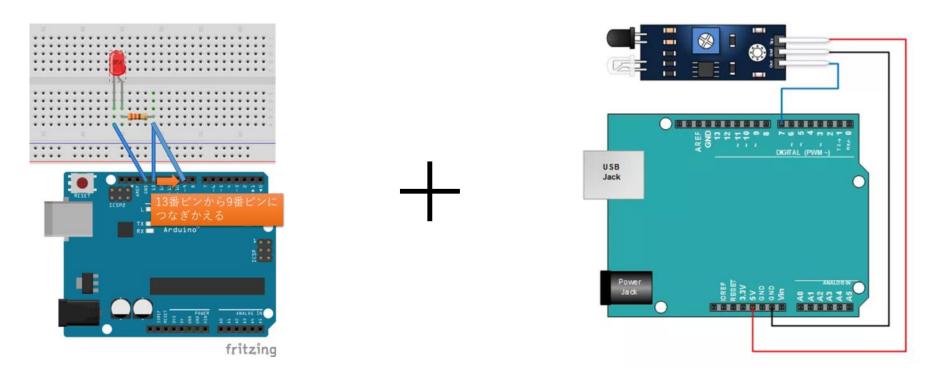
- 赤外線の反射光量を検知してHIGH/LOWを出力するモジュール
- 発光/受光部の前に手や物を近付けると出力がLOWになり、遠 ざけるとHIGHになる
- HIGH/LOWのしきい値は、ポテンショメータを回すことで調整できる
- ・スペック
 - VCC voltage is 3.3V to 5V converter (which can be directly connected to 5V single-chip microcontroller and 3.3V)
 - GND external GND
 - OUT of small plate digital output interface (0 and 1)



ポイント:

- ブレッドボードをうまく 使って、モジュールと Arduinoを接続する
 - OUT > 7番ピン
 - GND → GNGピン
 - VCC → 5VピンGND
- プログラムは 04_isObstacle.inoを使う

LEDとセンサーを組み合わせて使ってみる

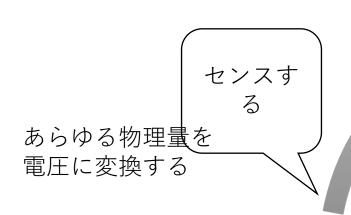


サンプルプログラム 05_myBlink_myFade_IRSensor.ino

小休憩



loT(Internet of Things)、ビッグデータ、 クラウド、AI



ネットワーク

計算する

実際の世界・モノ

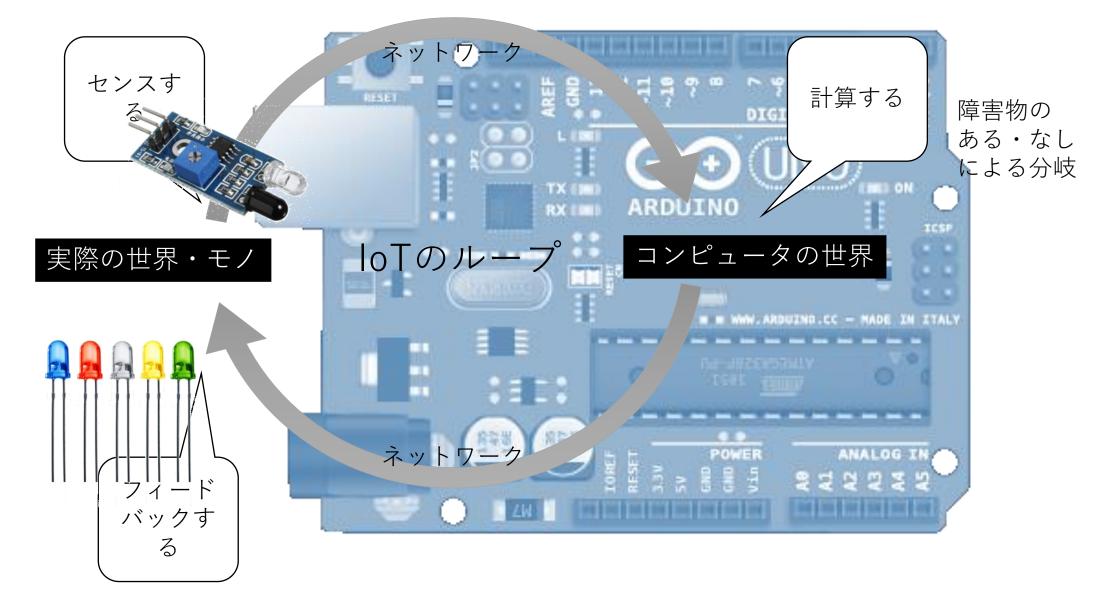
IoTのループ

コンピュータの世界

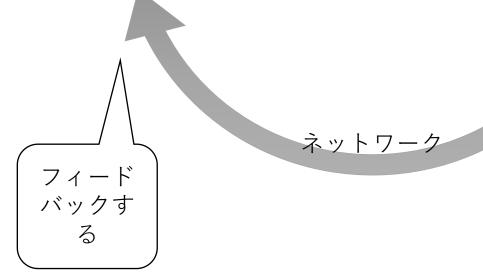


ネットワーク

今日やったことを例にとると・・



多数・多種のセンサーデータ **→ビッグデータ** ネットワーク 計算手法として AIを活用する 計算する Αl あらゆる物理量を 機械学習 電圧に変換する Deep Learning コンピュータの世界 **心**Tのループ 実際の世界 自分が所有する **クラウド**サービスを



コンピュータで 計算するか



利用するか



(まるで蛇口をひねったら 水が出てくるかのように) 使いたいときに使いたい 分だけ計算能力を使う

センサーってどんな種類があるのか?

http://akizukidenshi.com/catalog/c/csensor/



IoTのネットワークのところ

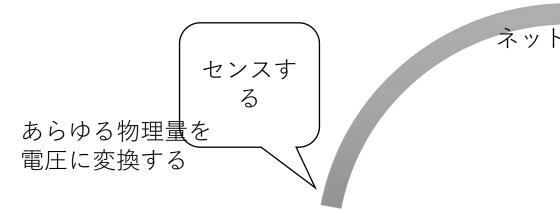


2015年12月21日 公開 / 2016年9月12日 更新

http://akizukidenshi.com/catalog/g/gM-09607/

https://soracom.jp/





ネットワーク

計算する

実際の世界・モノ

IoTのループ

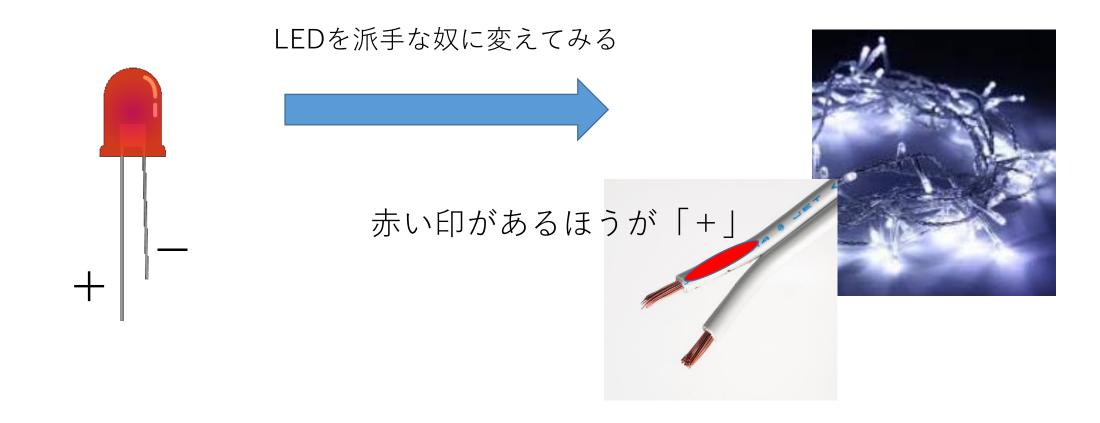
コンピュータの世界



ネットワーク

今日やってることは、IoTへの第一歩

さて、いよいよ今日のハイライト



今日の目的・到達地点

• コンピュータ・プログラムと実際のモノの接点、を体感する

昨今流行りのIoT(Internet of Things)へのつながり・発展を理解する

ご参加いただきありがとうございました。 今日の内容はいかがでしたでしょうか。